

INNOVATION  
LAB  
ASIA

# 北欧ヘルステック

北欧スタートアップ15社ショーケース

INDUSTRIENS  
FOND FREMME  
DANSK  
KONKURRENCEVNE  
The Danish Industry Foundation



TECHBBQ

 Nordic  
Innovation

# はじめに

本報告書では、北欧ヘルステックスタートアップの中から**日本市場に適していると思われる企業15社**を厳選し紹介しています。

北欧と日本には共通点が多く、直面している問題も同じです。北欧も日本も比較的豊かで技術力も大変優れています。そして社会は高齢化と労働力不足に苛まれ、医療技術の革新的ソリューションが求められています。

これらを踏まえると、北欧と日本は「共に」未来に目を向け始めることができるでしょう。今よりもスマートな医療社会を考えなくてはなりません。予防可能な病気が発症するのを抑え、発症した時にはより安価で効果的な治療方法を見つける必要があります。さらには医療現場の人材活用を最適化し、できる限りの業務を自動化するべきでしょう。このプロジェクトに取り組む中、北欧と日本のそれぞれのエコシステムと関わるうちに、両地域がもっと緊密に協力していけばこのような発展を押し進めていけると私たちは確信を持つようになりました。

本報告書は北欧と日本のスタートアップエコシステムをつなぐ、非営利かつコミュニティベースの推進事業であるInnovation Lab Asiaが作成しました。

Innovation Lab Asia はデンマーク産業財団とNordic Innovationの支援の下、Asia House DenmarkとTechBBQが共同で運営するプロジェクトです。Copenhagen Capacity、Copenhagen Healthtech Hub、Public Intelligence、Enter Espoo、Maria 01、Startup Norway、Icelandic Startups、Nordic Innovation House Tokyoなど北欧各国のパートナーと緊密に連携しています。

本報告書が日本の投資家やステークホルダーの方々にとって北欧ヘルステックに新たな可能性を見出すきっかけとなり、また関係者全ての方々にとって共通の利益となることを心より願います。

詳しい内容やお問い合わせは下記までご連絡ください。

## ASIA HOUSE

Peter Johansen, [pj@asia-house.dk](mailto:pj@asia-house.dk)

Kenken Aoshima, [ka@asia-house.dk](mailto:ka@asia-house.dk) (日本語対応)

## TECHBBQ

Julian Nielsen, [jni@techbbq.org](mailto:jni@techbbq.org) (日本語対応)



# 目次

---

07	北欧ヘルステックについて
11	Cerebriu
12	Cognuse
15	Kamu Health
16	MedicPen
19	Neurescue
20	Nøie
23	Nordic Brain Tech
24	Popit
27	Precure
28	Reon
31	Rotapure Lab Instruments
32	Sciar Company
35	Spermosens
36	Tackl
39	Walk With Path
42	北欧ヘルステックハブ



# 北欧ヘルステック について

北欧のヘルスケアエコシステムは、効率的で質の高い医療を全国民が享受していることで世界でもよく知られています。これらの医療制度は以下に挙げる4つの特徴を核とするヘルスケア・イノベーションにとって理想的なフレームワークも提供しています。

第一に、北欧の医療制度では従来最新のヘルステックやデジタルソリューションをいち早く取り入れていること。特に高齢者や障害者が自宅で自立した生活ができるためのものが中心です。これは国内企業にとって産官連携でソリューションの実証試験や開発を行える絶好の機会になります。そしてそれが高齢者や障害者のためのプロダクトやサービスを提供する様々な企業の創出につながっています。

第二に、公的医療制度—そして北欧社会全体—は、行政に対しても個人間にも置かれている高い信頼を特徴とし、それが個別化された在宅医療の開発や実証試験、実用化への道を開いています。

第三に、公的医療制度は1960年代にまで遡ってヘルスデータを保存しているという他類まれな登録システムを開発し、複数の登録制度間でのデータ共有を可能にしています。データの品質は、他の地域で見られるような民間の保険会社が主に管理目的で収集するデータとは比べ物になりません。現在これほど高度なデータやバイオ

バンクへのアクセスが可能であることが、AI主導のヘルスケアソリューションの基盤作りに役立ち、明確に文書化されたユースケースや北欧開発ソリューションの概念実証(Proof of Concept)を提供しています。

最後に挙げる北欧の特徴は、最強のデジタル競争力と一般市民のデジタルスキルの高さです。北欧が遠隔医療、デジタルヘルスケアや自立生活支援(AAL)技術のソリューションの開発や試験、実用化に適しているとされる所以がここにあります。

北欧ヘルステック企業が卓越する3つの分野:

**スマートデジタルソリューション:** 遠隔診療や遠隔医療など、医療分野でのコミュニケーションを円滑にするEヘルスやソリューション。

**自立生活/ケア支援技術:** モニタリング、セルフケアソリューション、リハビリ用器具他。

**個別化医療:** 個別化されたヘルスソリューション創出のためのビッグデータの収集に基づく、および/あるいはそれを利用した製品。

当然のことながら、北欧ヘルステック・スタートアップはすでに日本の投資家にとっても注目的になっています。2017年にはMedfiles、2018年にはKIDE Clinical Systemsと Oncolmmunity、そして2019年にはNightingale Health、Combinostics とMeru Healthが投資対象となっています。

北欧ヘルステックは新型コロナウイルスのパンデミックをきっかけに、以前にもまして価値のある技術となりました。ハイリスク患者の多くが適切な治療が受けられない、あるいは病院やクリニックを訪れることで感染リスクに晒されている今日。このパンデミックは世界中の医療制度を追い詰めるだけでなく、その根本的な弱点をもさらけ出すこととなったのです。

患者の遠隔でのモニタリングや治療の実現、予防や早期診断、自助ツールを提供するソリューションの一刻も早い導入が求められています。そしてこれらは全て北欧が先頭に立つ分野なのです。

次の章では、北欧ヘルスケアスタートアップ15社について、そのソリューション、プロダクトの日本市場での適合性、そして各企業の日本での活動目標について紹介します。

## ヘルステックとは

本報告書で紹介するスタートアップ企業は全てヘルステックと定義しています。データドリブンのソリューションと機械学習、AI(人工知能)、AR(拡張現実)、センサーやウェアラブルと組み合わせたソフトウェアを医療セクターに附与するものです。どのヘルステックスタートアップも目指しているのは健康な生活の実現。精神や身体状態の管理・治療・診断に加え、障害者や高齢者の自立を向上させます。したがって、バイオテクノロジーは本報告書のスコープには入りません。





## 企業データ

所在国:	デンマーク
設立年:	2018年
創業者:	Akshay Pai, Robert Lauritzen, Erik Dam, Mads Nielsen, Martin Lillholm
2019年収益(ユーロ):	0 (収益前)
従業員数:	20-49名
資金調達タイプ:	ブートストラップ/助成金/エンジェル投資家/VC
投資ラウンド:	シード
累積調達金額:	3億8000万円
出資者:	Vaekstfonden, Crista Galli Ventures, Innovation Fund Denmark, KMD Venture

## 個別画像診断をより迅速に提供

# CEREBRIU

セレブリア

Cerebriuは命に危険を及ぼす疾患をリアルタイムで検出することで、脳のMRIスキャン検査の実施や患者の治療をスピードアップできるスマートプロトコル技術を開発。画像診断を使用してワークフローの効率化や質、患者の転帰を改善する。

Cerebriuの製品「Apollo」は最先端の機械学習法を採用し、適切な患者トリアージとPACS(医療用画像管理システム)サポートを行うことでMRIスキャン実施や患者の優先順位の見極めを加速化する。最終的には生産性が向上し、臨床医が介入せずとも適切な患者を適切なタイミングで優先度付けが出来るようになる。

2015年に日本の厚生労働省が実施した医療機関調査によると、全てのCT及びMRIレポートを分析するには、常勤の診療放射線技師の数にして現況の2倍以上の人数が必要、という結果であった。Cerebriuの「Apollo」システムを利用すればこのような人員不足の解消につながる可能性はある。



### 日本での活動目標

脳のMRI読影ワークフロープロセスの改善に取り組んでいる放射線技師や医師との提携。

### 企業紹介動画



### 問い合わせ先

共同創業者兼CTO Akshay Pai  
ap@cerebriu.com  
cerebriu.com

# デジタルソリューションで医療の質と患者の安全性を向上

## COGNUSE

コグヌース

Cognuseは一連の治療過程におけるガイドライン遵守の改善、医療の質、患者の安全性と転帰の向上を重点に置いた、医療従事者や患者のデジタルヘルスソリューションを構築している。

主要製品「CoNurse」は、医療の質と標準化を向上させるために音声ガイドを使ってプロトコル遵守と利用を促すアプリケーション。ルーティン以外の手順や緊急事態の際の臨床プロトコルやワークフローについて段階的かつ施設仕様のガイドラインを利用してケアスタッフをサポートし、医療上払戻しができない主要なコストドライバーとされる予防可能な有害事象を著しく削減する。また費用効果の高い新人研修も可能となる。

投資家やパートナーはジョン・ホプキンス大学、スタートアップ500社、フィリップス、赤十字、エストニア政府、国際協力ドイツ局(GIZ)など。



### 日本での活動目標

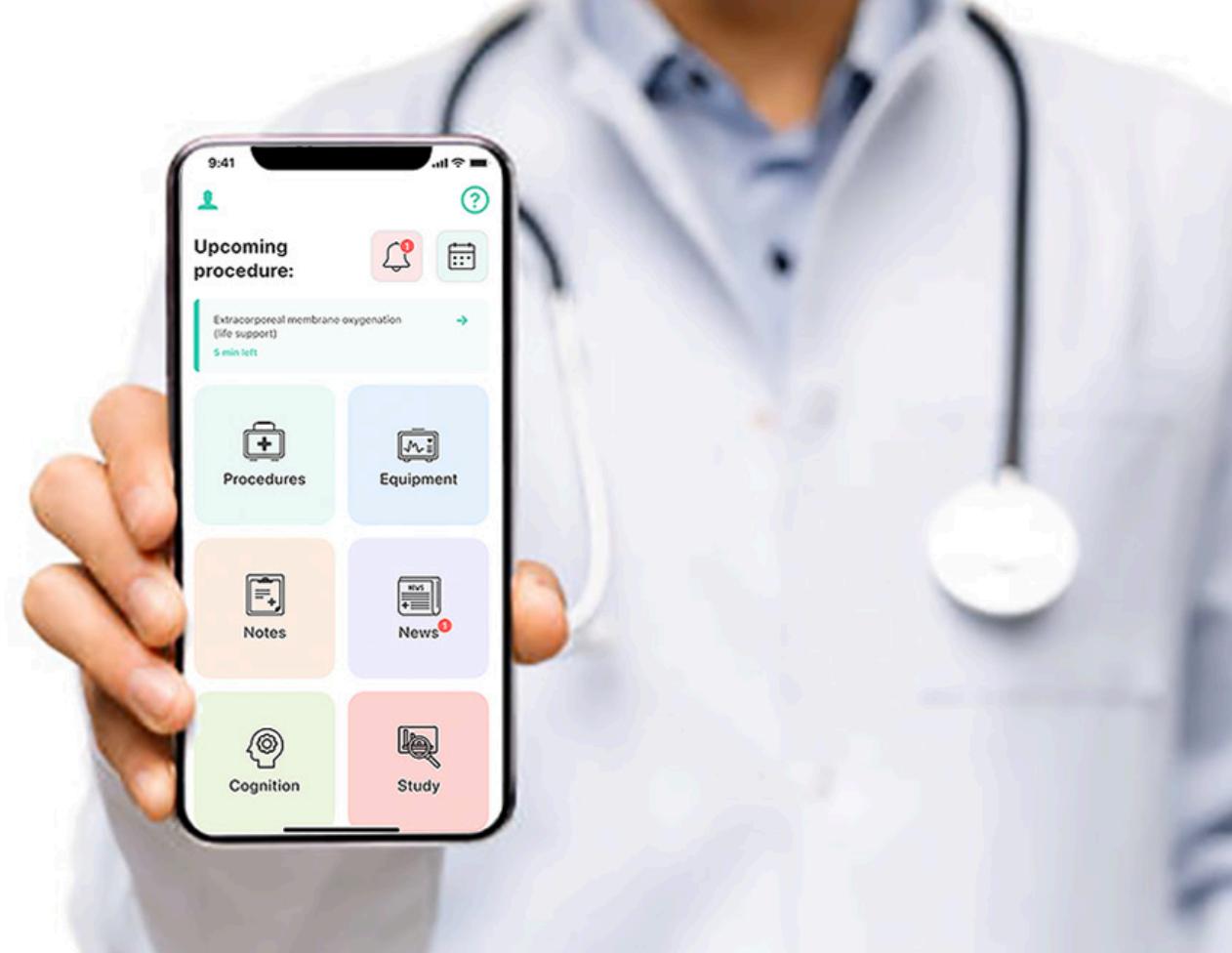
資金調達先、販売代理店、顧客、R&D部門などの確保。日本進出により投資戦略の拡大、規模拡大を狙う。

### 企業紹介動画



### 問い合わせ先

創業者兼CEO Andres Mellik  
andres@cognuse.com  
cognuse.com



### 企業データ

所在国:	エストニア
設立年:	2012年
創業者:	Andres Mellik
2019年収益(ユーロ):	100,000 - 499,999
従業員数:	10-19名
資金調達タイプ:	ブートストラップ/助成金/エンジェル投資家/VC
投資ラウンド:	シリーズA
累積調達金額:	9300万円
出資者:	EASME-EU, 500 Startups, Dreamit Ventures



## 慢性呼吸器疾患患者の肺機能の モニタリング・管理をサポート



# KAMU HEALTH

カム・ヘルス

KAMU Healthが開発したのは、呼吸器疾患の患者の肺の状態を自宅からモニターできるデジタルツール。これにより患者自身が状態の変化をより正確に予測し、症状の変化への積極的な対処が可能となる。

このソリューションは、不確定要素を取り除いて患者のQOLを上げ、医師とデータ共有することで患者—医師間のコミュニケーションを向上させる。「KAMU Asthma」は、正確かつ臨床に基づくテクノロジーに最新のモバイル消費者体験を組み合わせた商品である。

世界中の医療制度が非常に切迫した状態に追い込まれている中で質の高いケアを可能にする「KAMU Asthma」は、コロナ禍の今まさしくうってつけの商品と言える。また通院の必要性が大幅に減ることで、ハイリスク患者の自主隔離も可能となる。

### 日本での活動目標

呼吸器疾患の管理とそれによる経済的負担の支援に向けた、当該領域で活躍するプレーヤーとの提携。

### 問い合わせ先

共同創設者兼CPO Seppo Salorinne  
seppo@kamuhealth.com  
kamuhealth.com

### 企業データ

所在国:	フィンランド
設立年:	2017年
創業者:	Seppo Salorinne、Petri Louhelainen、Yrjö Salorinne
2019年収益(ユーロ):	0 (収益前)
従業員数:	1-9名
資金調達タイプ:	助成金/エンジェル投資家
投資ラウンド:	シード
累積調達金額:	1億2400万円
出資者:	Business Finland、Vertical Accelerator

患者が正しい時間に正しい薬が飲めるように



# MEDICPEN

メディックペン

MedicPenは医師・医療従事者・患者の誰にとっても医薬品管理が容易になる、投薬管理のための包括的なソリューションを開発した。

MedicPenは自動調剤、リアルタイムモニタリング、そして服薬のトレーサビリティが可能となる。その結果コンプライアンスの向上、服薬率や効率の改善につながり、薬品の損失や無駄が減少する。

当ソリューションは医療システムに統合・連動されて服薬量の変更も遠隔操作でできるので、患者が服薬管理のために医師や医療機関を訪ねる手間が省ける。その結果医療制度の負担が軽減され、ハイリスク市民が新型コロナウイルス感染リスクにさらされるのを抑えることができる。

MedicPenのソリューションは拡張性に富み様々なニーズに対応可能。IT環境にも統合されている。

## 日本での活動目標

販売網や販売代理店の確保。

## 問い合わせ先

CEO Jan Andersson

jan.andersson@medicpen.com

medicpen.com



## 企業データ

所在国:	スウェーデン
設立年:	2006年
創業者:	Cristian Hallin
2019年収益(ユーロ):	100,000 - 499,999
従業員数:	1-9名
資金調達タイプ:	助成金/エンジェル投資家/VC
投資ラウンド:	シリーズC以上



## 企業データ

所在国:	デンマーク
設立年:	2014年
創業者:	Habib Frost
2019年収益(ユーロ):	0 (収益前)
従業員数:	1-9名
資金調達タイプ:	助成金/エンジェル投資家/VC
投資ラウンド:	シリーズA
累積調達金額:	14億円
出資者:	TAG Holding、GreenOcean Capital、Nina Capital、Nordic Impact、その他スκανジナビアのライフサイエンスエンジェル投資家多数

## 出血と心停止救急処置用の画期的な医療機器を開発

# NEURESCUE

ニューレスキュー

心停止は世界で最も多い死因とされ、死亡者数は日本での18万人を含む年間900万人に上る。現在心停止の標準的な治療は胸部圧迫、換気、除細動であるが、治療を施しても死亡率は90%である。

Neurescueは、圧力制御による拡張と位置フィードバックを備えた世界初のコンピュータエイドによる大動脈閉塞カテーテルを開発した。バルーンは大腿動脈を通して下行大動脈に挿入され、一時的に大動脈内で自動的に拡張して血流を心臓や脳に戻す。血流が増加すると胸部圧迫と除細動による即時蘇生の可能性が高まり、治療の時間枠も1時間延びるので患者に高度な治療を施す時間の余裕ができる。

Neurescueのデバイスは、既存の治療を補って生存率と神経学的転帰を高める可能性があるとして研究が進められている。執筆時現在、同社は2020年12月にFDA 510(k)の認可が見込まれている。また任意の血管への自動挿入カテーテルなど、その他の自動救命処置の特許も有する。

### 日本での活動目標

日本の医薬品医療機器総合機構(PMDA)プロセス並びに償還システムにできるだけ精通し、外傷と心停止の市場に詳しい販売代理店の確保。日本をアジアでの事業展開における物流ハブと位置付けている。また資金調達や買収に向けた戦略的パートナーシップにも関心あり。

### 企業紹介動画



### 問い合わせ先

共同創業者兼COO Bjørn Broby Glavind  
 bjorn.broby@neurescue.com  
 neurescue.com



## アルゴリズムで最適な成分を配合し カスタマイズする新しいスキンケアソリューション

# NØIE

ノイエ

ブランドネームのNøie(ノイエ)は、デンマーク語で「入念、正確、きめ細やか」という意味。一人一人の肌タイプに合わせたスキンケアソリューションを追求するNøieのアプローチが表した名前だ。

開発チームは乾癬、皮膚炎、にきびなど肌のトラブルに悩む6万人のデータを3年かけて分析。市販のスキンケア商品から数千種類をスクリーニングし、その中の優秀515品目について個々の成分やその効果に関する入念な化学的研究を行った。

データサイエンティストや皮膚専門家の協力を得て、Nøieは医学的知識と機械学習を組み合わせて一人一人の肌に合う最適な成分配合を特定するアルゴリズムの開発に成功。このイノベティブな方法で全ての肌タイプや症状に合わせたスキンケアの提供を目指す。



### 日本での活動目標

デンマーク製のカスタマイズスキンケアを日本に広めるための市場開拓や販売に向けたパートナーの確保。

### 企業紹介動画



### 問い合わせ先

共同創業者 Chris Lykke Christiansen  
chris@noie.com  
noie.com

### 企業データ

所在国:	デンマーク
設立年:	2018年
創業者:	Daniel Jensen、Chris Lykke Christiansen
2019年収益(ユーロ):	100,000 - 499,999
従業員数:	10-19名
資金調達タイプ:	助成金/エンジェル投資家/VC
投資ラウンド:	シリーズA
累積調達金額:	5億円
出資者:	LEO Pharma、PreSeed Ventures、Seed Capital、Vaekstfonden、Thomas Ryge Mikkelsen





## 自己支援型バイオフィードバックに基づく デジタル偏頭痛治療法を開発



# NORDIC BRAIN TECH

ノルディック・ブレイン・テック

バイオフィードバックとは電子機器やその他の機器を利用して自身の体の生理学的機能を強く自覚させるプロセスを指す。Nordic Brain Techは、スマートフォンとワイヤレスセンサーを利用して偏頭痛患者に個別の治療計画を提供する、遠隔の自己支援型バイオフィードバック療法を開発した。

その他にも頭痛経験者の診断やフォローアップツールとしても利用可能なデジタル頭痛日記「Brain Twin」を開発。

Nordic Brain Techが目指すのはディープラーニング(深層学習)を利用した脳健康改善、そして偏頭痛やその他の神経疾患の治療。完全な在宅偏頭痛治療の導入によってユーザーは手頃な価格で偏頭痛治療ができるようになった。

例年、日本の非高齢者人口の6%が偏頭痛に苦しむと言われている。偏頭痛の在宅治療は病欠や生産性の低下の防止につながり、日本社会に与える莫大なコストの削減を可能にする。

### 日本での活動目標

頭痛疾患の治療や緩和にデジタルソリューションを検討している保険会社、製薬・家電メーカーとの提携。また自社製品の日本のユーザーグループや市場セグメントとの適合に向けて早期の協力体制を確立するためのパートナーの確保。

### 問い合わせ先

CEO Cathrine Ro Heuch  
cathrine@nordicbraintech.no  
nordicbraintech.com

### 企業データ

所在国:	ノルウェー
設立年:	2019年
創業者:	Cathrine Ro Heuch、Marcus Engebretsen、Stefan Borg、Anker Stubberud、Alexander Olsen、Erling Tronvik
2019年収益(ユーロ):	100,000 - 499,999
従業員数:	1-9名
資金調達タイプ:	ブートストラップ/助成金/エンジェル投資家
投資ラウンド:	シード
累積調達金額:	5600万円
出資者:	Startup Lab、Business Angels

# 薬の飲み忘れを防ぎ人々のQOLをアップさせる 世界一賢い薬のお知らせサービス



## POPIT

ポピット

世界保健機関(WHO)によると、患者の50%が薬を飲む機会を逃していると言う。服薬が守れない理由には幾つかありますが、最大の原因はいたってシンプル: 飲み忘れである。日本は2019年の医薬品支出総額がおよそ10兆円。その1%だけでも節約できるとしたら?

Popitは、患者の薬パックに繋がって薬の服用状況を把握できる装置を開発。データは医学的承認を受けたアプリに送信され、必要に応じて服用し忘れた時に患者に通知が行く。このシステムの利用により薬の飲み忘れが80%以上削減できることが臨床的に検証されており、無駄を減らし治療の改善につながる。

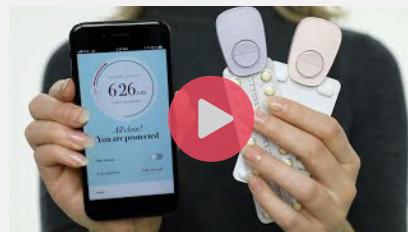
この匿名データはクラウドにも送られ、カスタマイズされたサポートメッセージを送信する。Popitは患者の服薬習慣や治療結果を改善し、薬の服用時間や方法のデータを提供し、患者に直接アクセスし、遠隔医療プラットフォームに服薬データを追加する。

Popitのソリューションは個人ユーザーを始め、医療システム、そしてファイザー、ノバルティス、アルミラル、フェルマータなどの製薬企業にも提供されている。

### 日本での活動目標

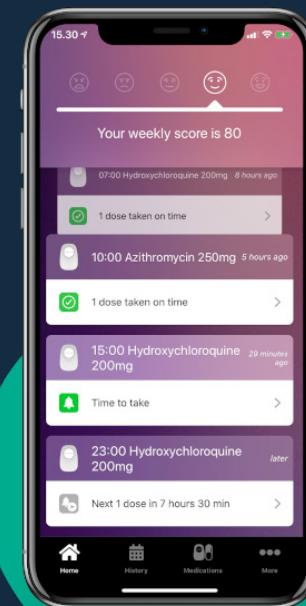
日本人は最新イノベーションへの関心が高く、Popitはすでに最初の製品を日本に出荷済みである。製品は爆発的な反響を呼び、今後は日本での顧客拡大と可能な限り資金調達も確保したい。

### 企業紹介動画



### 問い合わせ先

共同創業者兼COO Timo Heikkilä  
timo@popit.io  
popit.io



### 企業データ

所在国:	フィンランド
設立年:	2015年
創業者:	Timo Heikkilä, Teemu Piirainen, Marko Nirhola
2019年収益(ユーロ):	100,000 - 499,999
従業員数:	1-9名
資金調達タイプ:	エンジェル投資家/VC
投資ラウンド:	シリーズA
累積調達金額:	1億5000万円
出資者:	Butterfly Ventures, Amor & Labor Oy, Business Finland





## スマートウェアラブルでテニス肘や腰痛などの筋骨格系障害を予防



# PRECURE

プレキア

PRECUREが開発したのはユーザーの筋肉活動をモニターしてスマートフォンアプリに送信するスマートウェアラブルソリューション。筋肉の緊張レベルが高くなるとユーザーは筋肉負荷のフィードバックを受け取って運動量の調整ができるので、筋骨格系障害を起こすリスクを軽減できる。

IoT と AI技術を駆使した当ソリューションは、個人や企業、保険会社、社会全体に役立つ。データはクラウドに保存され、怪我の原因となる行動のリスクと頻度を抑えるために利用できる。これによって従業員の保護やコスト削減、生産性の向上を期待できる。医療保険会社にとっても保険金請求が減ることでメリットになる。

研究によると、仕事に起因して生じるテニス肘や腰痛などの筋骨格系の損傷は日本の労働者に大きな負担を与えている。このような損傷や障害を予防するスマートテクノロジーは、やがて労働力の高齢化が引き起こす問題に直面していく日本にとって有意義だと思われる。

さらにはコロナ禍で、長期間にわたるリモートワークによって人間工学的にも緊張の繰り返しが見込まれる。PRECUREのテクノロジーを利用すれば雇用者は従業員の健康や安全性をリモートでもしっかり確保できる。

### 日本での活動目標

日本はPRECUREにとって主要なマーケットであり、日本のヘルスケア関連のステークホルダーとのパートナーシップを確立したい。また資金調達やクライアント、代理店や新しいアイデアも確保したい。

### 企業紹介動画



### 問い合わせ先

CEO Finn Bech Andersen  
fba@precure.dk  
precure.dk

### 企業データ

所在国:	デンマーク
設立年:	2016年
創業者:	Finn Bech Andersen
2019年収益(ユーロ):	10,000 - 99,999
従業員数:	10-19名
資金調達タイプ:	助成金/エンジェル投資家/VC
投資ラウンド:	シード
累積調達金額:	5700万円
出資者:	Sparbo Finans, Bornholm's Business Foundation

# 新世代の外科医向けハプティクス(触覚)技術



## REON

リオン

デジタルジャーニー、デザインプリント、UX/UIデザイン、アプリ、ウェブシステム、Eコマース、ロボット、機械学習やオートメーション等、幅広いデジタルサービスを提供しているReon。最近ではハプティクス技術のスキルや知識を医療分野へ応用している。

ハプティクス技術とは触覚的なインタラクションを通じて医療機器の遠隔操作を高める医療行為として今成長している分野。現在Reonは腹腔鏡検査用の触覚メカニズムを開発中で、この技術により安全性が大きく向上し、手術ミスの危険性を最小限に抑えるこ

かつて新人外科医のトレーニングには時間と労力がつきものだった。しかし最近では皮膚感覚フィードバックがフルに得られる機器を利用したトレーニングや操作が可能となり、トレーニングに要する時間の短縮や操作の安全性が向上している。

### 日本での活動目標

Reonにとって大きな可能性を秘めている日本の市場参入をアシストしてくれるパートナーの確保。

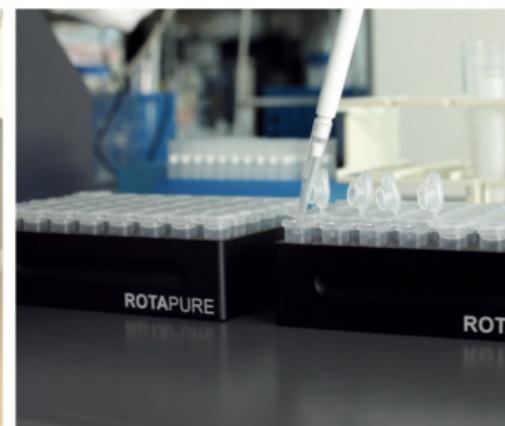
### 問い合わせ先

リードエンジニア Áspór Tryggvi Steinþórsson  
asthort@reon.is  
reon.is

### 企業データ

所在国:	アイスランド
設立年:	2011年
創業者:	Elvar Thormar, Áspór Tryggvi Steinþórsson
2019年収益(ユーロ):	500,000 +
従業員数:	10-19名
資金調達タイプ:	ブートストラップ/助成金
投資ラウンド:	シリーズA
累積調達金額:	6600万円
出資者:	Technology Development Fund





ラボスタッフや研究員の業務を  
より迅速、スマートに



# ROTAPURE LAB INSTRUMENT

ロタピュア・ラボ・インストルメント

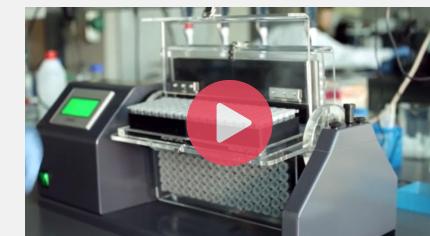
Rotapure Lab Instrumentのシステムは人間生物学系ラボの要となるリサーチワークフローを簡素化するもの。このシステムは、回転子(特許取得)およびラボのサンプルを大量に処理できる大容量のチューブラックから成る。

結果として、ラボスタッフの作業処理能力アップ、整合性の向上、時間節約、そして大幅な生産性の向上が見込まれる。チューブ120本用ワークフローの「ロタピュア・ローテーター・システム」の場合、50%の時間削減ならびに混合/遠心分離機反復10回での各サンプル準備のワークフローにして4800回分の繰り返し作業が回避できるといふ好結果が測定されている。

## 日本での活動目標

日本でRotapure製品の取り扱いや宣伝、販売網の確立を担ってくださる国内代理店の確保。またラボスタッフの時間・労力軽減を検討しているバイオテック・製薬企業・医療機関のエンドユーザーとのコネクション。

## 企業紹介動画



## 問い合わせ先

共同創業者 Peter Munkholm Nielsen  
pnm@rotapure.dk  
rotapure.dk

## 企業データ

所在国:	デンマーク
設立年:	2014年
創業者:	Janus Schou Jakobsen, Steen Nielsen, Peter Munkholm Nielsen
2019年収益(ユーロ):	0 (収益前)
従業員数:	1-9名
資金調達タイプ:	ブートストラップ/助成金
投資ラウンド:	プレシード

## 拡張現実ワークフローと自動記録機能を取り入れた品質管理ソフトウェア開発



# SCIAR COMPANY

サイアール・カンパニー

拡張現実(AR)テクノロジーは製造業に革命をもたらし、ヘルステック業界でもそれは例外ではない。Sciar Company Ltdは最新のAR/MR、AI技術を単独で使いやすいクラウドプラットフォームに組み込むことによって生物化学研究の進歩を支援するソフトウェアを開発している。

SaaSベースのARアプリケーションは、実験プロセスに直感的かつ相互的な作業指示の作成と実装を可能にした。ARデバイスからのデータはSciarのクラウドベースの品質管理ソフトウェアで管理され、ワークフローの追跡、各作業ステップを確実に終了させることができるためヒューマンエラーがなくなる。さらにはシステムがこれらのプロセス自動的に文書化するので、スタッフの生産性も上がる。このプラットフォームを利用すれば科学者やラボスタッフは世界中のデータアクセス・共有が可能となる。

新型コロナが蔓延する今、業界はかつてないほど迅速な対応に迫られている。Sciarのソフトウェアはバイオテクノロジーの研究を加速する上で大きな可能性を秘めている。

### 日本での活動目標

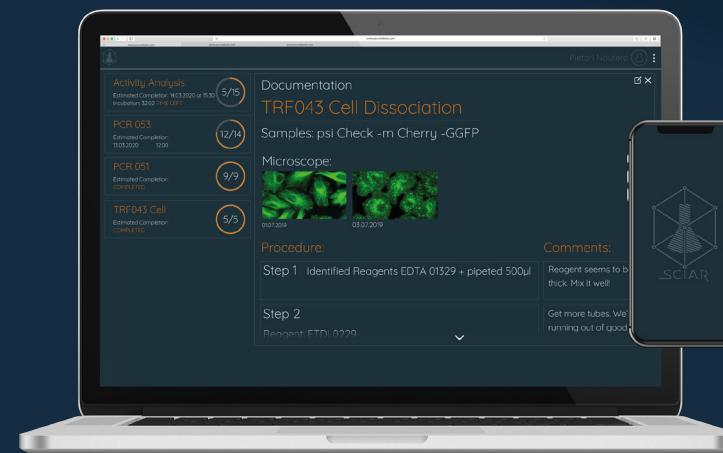
投資家や新規クライアントの確保。

### 企業紹介動画



### 問い合わせ先

COO兼共同創業者 Kristian Alaviuhkola  
kristian@sciar.co  
sciar.co



### 企業データ

所在国:	フィンランド
設立年:	2018年
創業者:	Kristian Alaviuhkola、Joel Noutere、Felix Erkinheimo
2019年収益(ユーロ):	1-9,999
従業員数:	1-9名
資金調達タイプ:	ブートストラップ/助成金
投資ラウンド:	プレシード
累積調達金額:	1400万円
出資者:	Business Finland



## 企業データ

所在国:	スウェーデン
設立年:	2018年
創業者:	Kushagr Punyani
2019年収益(ユーロ):	0 (収益前)
従業員数:	1-9名
資金調達タイプ:	エンジェル投資家
投資ラウンド:	シリーズA
累積調達金額:	3400
出資者:	Vinnova

## 男性用生殖能力診断法に革命を起こす



# SPERMOSENS

スペアモーセンス

ICMART(国際生殖補助医療監視委員会)が発表した2016年度のレポートによると、日本は体外受精(IVF)の症例が最も多いが、成功率は最も低いという。またWHO(世界保健機関)はどの国も不妊症ケースの50%が男性側に原因があると報告している。

Spermosensは精子細胞の受精能力を即座に予測できる男性不妊診断機器の初の実用化を果たし、不妊治療に革命的な変化をもたらしている。既存の体外受精方法では精子細胞をその運動性、形態など物理的特性によってのみ評価している。だがこの方法では男性不妊症の原因全てを特定できるわけではない。

遺伝子組み換えタンパク質、ナノテクノロジーと電気化学を駆使してSpermosensが新しく開発した診断装置は、原因がわからない男性不妊症の根本的な理由を患者や医療従事者に解明し、最適な体外受精治療を行うのに役立つ。

### 日本での活動目標

この画期的な機会を最大限活用して不妊症に悩む人々のQOL向上のために力添えしてくれる日本の戦略的パートナーの確保。日本の体外受精治療に携わる全ての人々に実質的な価値を創造できるよう努めている。

### 問い合わせ先

CEO John Lempert  
jsl@spermosens.com  
spermosens.com

## 深刻な問題を解決に導く楽しいゲームの開発

# TACKL

タクル

国際児童基金(ユニセフ)の幸福感調査によると、日本の子どもの精神的幸福度は先進国38か国中ワースト2位。そしてそれは生活満足度の低さや高い自殺率に反映されている。専門医療機関を受診するには時間がかかるという状況も含め、児童や青少年がメンタルケアの治療にまで及んでいないことがさらに問題を深刻化させている。

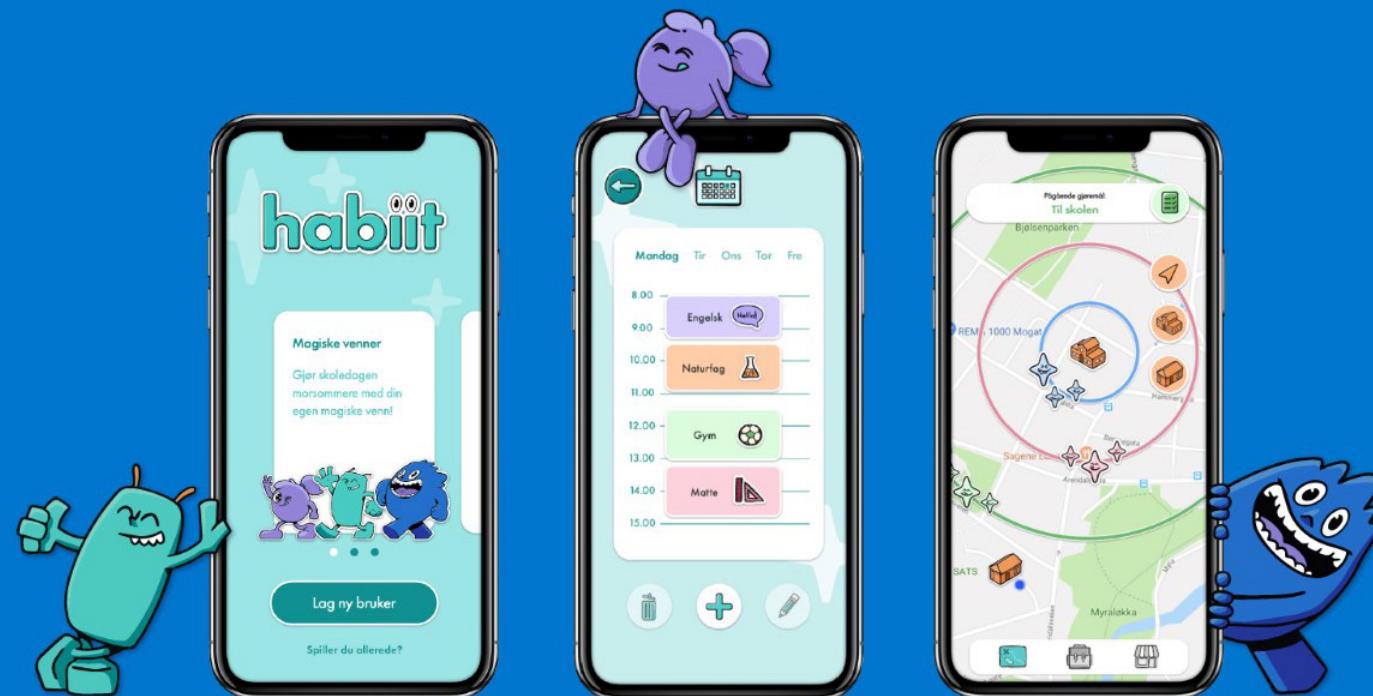
スタヴァンガー大学、ノルウェー科学技術大学(NTNU)らの学際的研究チームの協力を得て、Tacklはスマートフォン用ゲーム「Habiit」を開発した。これは不登校や不安症、その他の心の問題に悩む6-12歳の子どもたちが健康的な習慣を身につけられるように支援するゲーム。ゲームによって児童、教師、児童心理学士、セラピストがつながり、子どもたちの心の問題の解決に役立つ大きな可能性を示している。

### 日本での活動目標

日本人研究者とのネットワーク作り、最終的には日本で製品の発売を目指す。

### 問い合わせ先

共同創業者兼CEO Sindre Holme  
sindre@tackl.no  
tackl.no



### 企業データ

所在国:	ノルウェー
設立年:	2018年
創業者:	Sindre Holme
2019年収益(ユーロ):	100,000 - 499,999
従業員数:	1-9名
資金調達タイプ:	ブートストラップ/助成金
投資ラウンド:	シード
累積調達金額:	1250万円
出資者:	小規模投資家多数



## 企業データ

所在国:	デンマーク
設立年:	2014年
創業者:	Lise Pape
2019年収益(ユーロ):	0(収益前)
従業員数:	1-9名
資金調達タイプ:	助成金/エンジェル投資家
投資ラウンド:	プレシード
累積調達金額:	4億2000万円
出資者:	MassChallenge

## 機械学習と直観力補助を利用したウェアラブルで 元気な歩行をアシスト



# WALK WITH PATH

ウォーク・ウィズ・パス

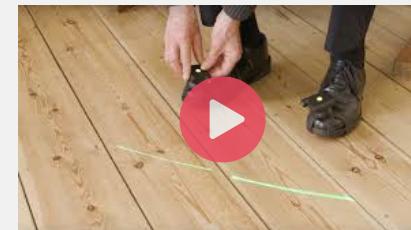
Walk With Pathは人々の移動性を高めて転倒防止にも役立つという、イノベティブなプロダクトの開発で受賞も果たしている。「Path Finder(パス・ファインダー)」は主にパーキンソン病患者に見られる「すくみ足」を緩和するために靴に装着して使用する。「Path Feel(パス・フィール)」は、糖尿病など慢性疾患が引き起こす感覚障害に対して、バランス感覚を改善させるスマートインソール。

Walk With Pathは高齢者向けの新商品も多く手がける。日本は急速な高齢化が進み日中のケアワーカー不足が生じており、高齢者の自立がますます重要視されている。Walk With Pathの製品は高齢者がより元気に過ごせる毎日を支援するための大きな可能性であると同時に、日本の医療制度への負担緩和にもつながる。

### 日本での活動目標

Walk With Pathはすでに香港進出を果たし、まもなく台湾でも発売予定。日本での販売拡大も想定している。当面「Path Finder」「Path Feel」の二商品と今後発売の商品の販売代理店と販売網の確保が目標。

### 企業紹介動画



### 問い合わせ先

創業者兼代表取締役 Lise Pape  
lise@walkwithpath.com  
walkwithpath.com

nøie

ROTAPURE  
LAB INSTRUMENTS



popit

PRECURE®



SPERMOSENS

medicpen

COGNUSE

Walk With Path.  
walk with confidence



neurescue

CEREBRIU



REON

### MEDICON VALLEY

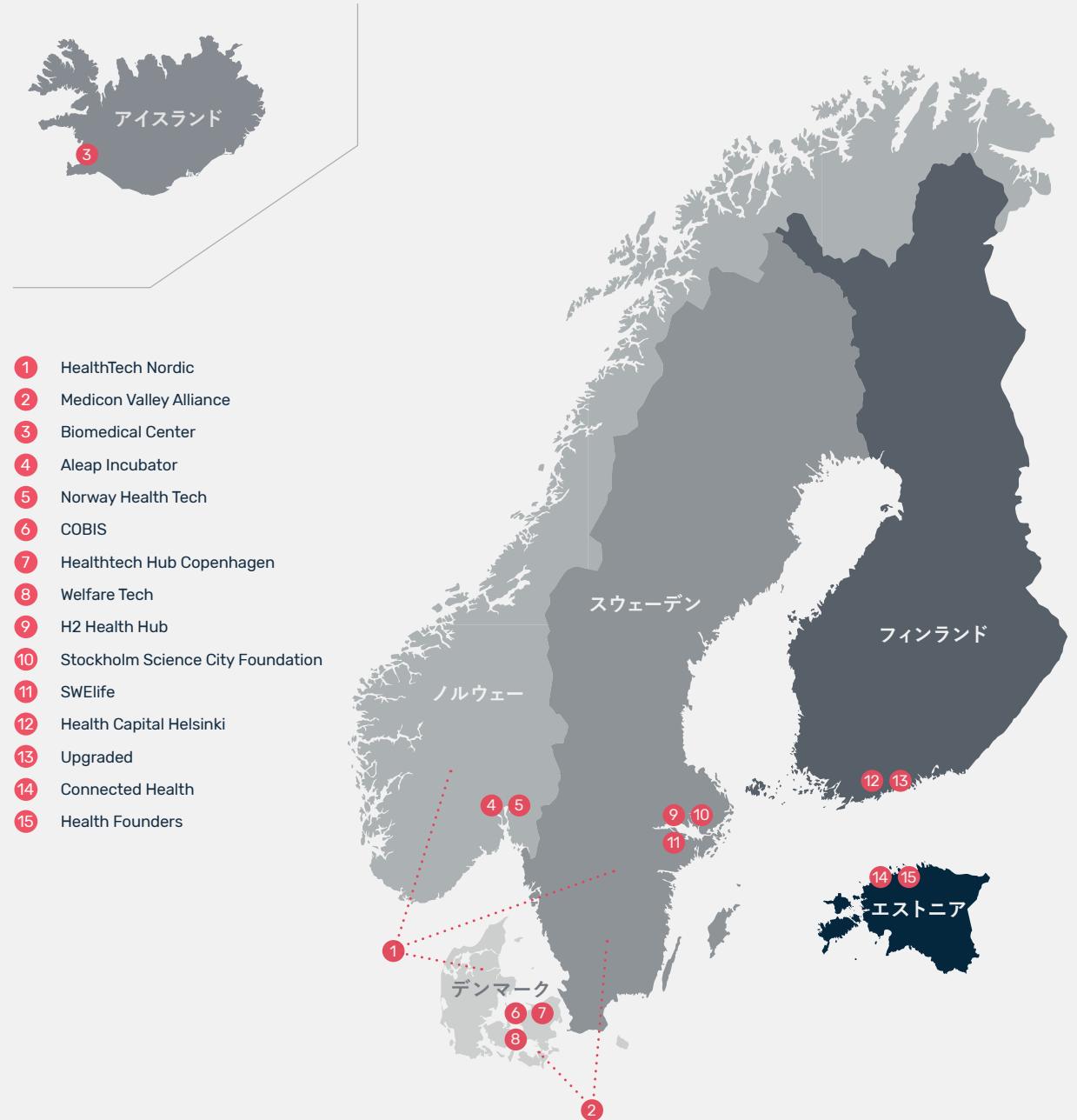
メディコンバレー

メディコンバレーは、デンマーク東部からスウェーデン南部にまたがるコペンハーゲン首都圏にあるライフサイエンスエコシステムの名称。

- ・ ライフサイエンスクラスターとしては世界第3位、密度では世界最大。
- ・ 民間企業従業員数44,000人超、バイオテック・メドテック・国内R&Dの製薬企業350社以上、グローバルR&Dの製薬企業4社(フェリング、ノボルディスク、ルンドベック、LEOファーマ)。
- ・ ライフサイエンス系大学9校(いずれも付属病院あり)、ライフサイエンス系大学生24,000人、研究者14,600人、PHD学生 9,000人が創出するノウハウやイノベーション。
- ・ ライフサイエンスを中心とするインキュベーター10社と7つのサイエンスパークが集結するスタートアップハブ。



# 北欧ヘルステックハブ



# ステークホルダー概要

## 多国籍オーガニゼーション

- 1 HealthTech Nordic (SWE / NO / DK)**  
主要な北欧ヘルステック企業向け最大のコミュニティ。COBIS、Health Tech Hub Copenhagenや Norway Health Techなど、ここで紹介されている組織による非営利コラボレーション。
- 2 Medicon Valley Alliance (SWE / DK)**  
デンマーク・スウェーデンのライフサイエンスクラスターの主要エントリーポイント。大学、病院、ヒューマンライフサイエンスビジネス、地方自治体、サービスプロバイダーなど300人以上のメンバーにアクセス可能。

## レイキャビク

- 3 Biomedical Center**  
生物医学分子ライフサイエンス分野のアイスランド大学研究グループとその他の機関の公式コラボレーション。

## オスロ

- 4 Aleap Incubator**  
オスロサイエンスパーク内にあるヘルステックスタートアップのための非営利インキュベーター。オスロ市とInnovation Norwayが支援。
- 5 Norway Health Tech**  
ノルウェーの主要ヘルステッククラスター。ヘルスケアの全バリューチェーンを代表する270社のコワークスペースでもある。

## コペンハーゲン

- 6 COBIS**  
バイオテックインキュベーター。スタートアップ、中堅企業、バイオテック専門家向けのラボ施設、オフィス、コミュニティ活動を提供。ノボルディスク社が立ち上げたアクセラレーターBioInnovation Instituteも在籍し、ライフサイエンス起業家や研究者向けにメンター活動を行っている。
- 7 Healthtech Hub Copenhagen**  
ヘルステックハブ、コワーキングスペース、デンマークのヘルステック系スタートアップエコシステムへの主要アクセスポイント。
- 8 Welfare Tech**  
デンマーク全国規模のクラスター。医療、在宅ケア、社会サービス分野でのイノベーションや事業開発のハブ。デンマーク進出を目指す海外企業の国内エントリーポイントでもある。

## ストックホルム

- 9 H2 Health Hub**  
カオリンスカ大学病院、カオリンスカインスティテュート、バイオテック企業多数と関わりを持つスウェーデンヘルステックコミュニティが集う場所およびコワーキングスペース。
- 10 Stockholm Science City Foundation**  
ストックホルムーアップサラ地域のライフサイエンスコミュニティをまとめる非営利組織。北欧ではMedicon Valleyに次いで2番目の規模。当地域のステークホルダー一覧は[こちら](#)。
- 11 SWELife**  
スウェーデンのライフサイエンスの強化と公衆衛生の改善を目標とする、ヘルスケア分野の産官学コラボレーション支援の戦略的イノベーションプログラム。

## ヘルシンキ

- 12 Health Capital Helsinki**  
フィンランドの大都市、病院、教育機関ら公的機関のアライアンス。海外投資家・企業とフィンランドライフサイエンスコミュニティとの可能性、協力関係を築く。
- 13 Upgraded**  
フィンランドのヘルステック・福祉テックスタートアップの非営利コミュニティ。エコシステムステークホルダーの関係構築、情報提供。

## タリン

- 14 Connected Health**  
Science Park Tehnopolが設立した全国レベルのパートナーシップ。企業、R&Dパートナー、医療・健康サービス事業者、患者組織、ユーザーコミュニティ、行政機関などエストニアのヘルス関連ステークホルダーが参加。
- 15 Health Founders**  
ファウンダー、パートナー、投資家らエストニアのコミュニティ全体の専門知識が結集するヘルステックアクセラレーター。

北欧ライフサイエンスエコシステムの全概要については[こちら](#)をご参照ください(TechBBQ、Upgraded Finland提供)。

発行元

INNOVATION  
LAB  
ASIA

#NordicMade

協力団体



TECHBBQ

COPENHAGEN  
CAPACITY



ENTER  
ESPOO

HEALTH TECH HUB  
COPENHAGEN



PUBLIC INTELLIGENCE

協賛

INDUSTRIENS  
FOND  
FREMME DANSK  
KONKURRENCEVNE  
The Danish Industry Foundation

 Nordic  
Innovation